

支出調書

会派名		郡山市議会公明党		代表者	経理責任者	起案者	
						山根 悟 	
区 分		事 由	費 目 ・ 金 額				小 計
1	調 査 研 究 費		交通費		旅費		
			自動車燃料費		資料作成費		
			調査委託費		振込料		
2	研 修 費	5月22～24日 参加研修費用（出席者負担金、振込手数料、旅費）	会場費		講師謝金		67,950
			出席者負担金・会費	11,000	交通費		
			旅費	56,070	自動車燃料費		
			資料作成費		食糧費		
			振込料	880			
3	広 報 費		会場費		交通費		
			自動車燃料費		資料作成費		
			広報誌（紙）		報告書等印刷費		
			送料（折込料含む）		ウェブページ掲載代		
			茶菓子代		振込料		
4	広 聴 費		会場費		交通費		
			自動車燃料費		資料作成費		
			茶菓子代		振込料		
5	要 請 ・ 陳 情 活 動 費		交通費		旅費		
			自動車燃料費		資料作成費		
			振込料				
6	会 議 費		会場費		交通費		
			自動車燃料費		資料作成費		
			振込料				
7	資 料 作 成 費		印刷製本費		翻訳料		
			筆耕料		振込料		
8	資 料 購 入 費		法規追録代		参考図書代		
			新聞（日刊紙）購読料		雑誌等購読料		
			有料データベース等利用料		振込料		
9	人 件 費		賃金		社会保険料等		
			振込料				
10	事 務 所 費		備品購入費		事務機器等リース代		
			消耗品等事務費		印刷代		
			振込料		配送手数料		
11	通 信 運 搬 ・ 自 動 車 燃 料 費		電話料等（按分）		郵便料等		
			自動車燃料費（按分）		その他		
支出年月日		令和6年5月15日	現金出納簿 支出番号	4	合 計	¥67,950	

支出明細書兼支出証明書

支出番号 4

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	② 研 修 費	3 広 報 費	4 広 聴 費		出席者負担金・会費 ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会 議 費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事 務 所 費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）				
支 出 目 的 （支出事由）					
		研修参加費支出のため			
内 容					
		令和 6 年 5 月 22～24 日 令和 6 年度全国地域づくり人財塾			
支 出 年 月 日	支 出 先		支 出 金 額		
令和6年 5 月 15 日	公 財) 全 国 市 町 村 研 修 財 団 全国市町村国際文化研修所		11,000 円		
上記のとおり支出します。					
議員氏名 山根 悟					

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

別紙参照

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。
※欄内に貼付できない場合は、別記第 11 号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

- ☐振込金受取書(兼振込手数料受取書)
- ☒預金払戻請求書・預金口座振替による振込受付書(兼手数料受取書)

ご指定日
R6年 5 月 15 日

金融機関名(漢字)を左づめてご記入ください(東邦銀行の場合は記入不要)

支店名(漢字)を左づめてご記入ください

お振込先

みずほ

銀行

大津

支出張店所

(Oをおつけください) 信 金 信 組 農 協 その他

☐ 東邦銀行 ☐ ☐ ☐ ☐

お受取人(口座名義)

該当欄目にOをお付けください
1.普通 2.当座 4.貯蓄 9.その他

右づめてご記入ください

金 額

170539

11000

カタカナ

サイコクニヨウソクケン
シユウサダイダンセニマクニヨウ

まえ(漢字)

公駐)全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所

様

カタカナ

コオリヤマツキカイコウメイトウ
ヤマノサトル

おなまえ(漢字)

郡山市議会公明党 山根 悟

様

日中連絡できるお電話番号 (携帯・自宅)

おところ

郡山市朝日1-257 町舎6F

消費税込手数料

880

都 度 後 納

☒

このお振込みは、翌営業日
扱いとさせていただきます
のでご了承下さい。

当行をご利用くださいますとありがとうございます。

株式会社 東邦銀行
出2納
6. 5. 15
東邦銀行
郡山市役所支店

収入印紙
1.振込金受取書の場合、
振込金+手数料(消費
税を除く)5万円以上
の場合は200円貼付
2.振込金受付書の場合
不要
3.当店の本人口座への
入金の場合は200円貼付

株式会社東邦銀行
登録番号
T9380001001018

税率	消費税額
10%	80

このお振込みは、翌営業日
扱いとさせていただきます
のでご了承下さい。

●振込先銀行へは、受取人名のほか預金種目・口座番号を通知します。
また、受取人名等をカナ文字により送信します。

●記載内容に不備があった場合は、照会等のために振込が遅延することがあり、場合によってはご入金できない
こともあります。

●振込内容につき訂正・取消が生じた場合は、各種依頼書の提出および別途当行所定の手数料が必要となります。
この場合、振込手数料は返却いたしません。なお、場合によっては取消ができないこともあります。この場合、
取消手続に関わる手数料は返却いたしません。

●通信機器、回線の障害等やむを得ない事由によって振込が遅延することがありますのでご了承ください。

令和6年4月11日

福島県 郡山市議会議長様

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所

学長 荻澤 滋

滋賀県大津市唐崎二丁目13番

登録番号 T6040005002305



研修受講決定兼請求書

先にお申込みいただきました貴所属議員の研修受講について、次のとおり決定しましたので、お知らせいたします。
つきましては、以下の事項にご留意のうえ、所要の事務手続等についてよろしく願います。

氏名	山根 悟
コース名	令和6年度全国地域づくり人財塾
研修期間	令和6年5月22日（水） ～ 5月24日（金）

1 研修受講に要する経費の納入について
下記金額を、指定期間内に指定口座に振り込んでください。

- (1) 納入金額：11,000円
＜内訳＞ 研修費(@1,300)（課税10%分） 3,900円
食費（課税10%分） 950円
食費（不課税分） 3,850円
研修生活動費（課税10%分） 2,300円
- (2) 税区分による内訳：（課税10%分） 7,150円（内税 650円）
（不課税分） 3,850円（内税 0円）
- (3) 指定期間： 令和6年5月15日（水） ～ 5月21日（火）
- (4) 指定口座： 滋賀銀行 唐崎支店 普通No. 461158
みずほ銀行 大津支店 普通No. 1705329
名義人：ザイ センコクチョウリョクシユガ イ・ン
センコクチョウリョクサイブ ンカシユウシヨ
（公財）全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所

- 注1) 振込依頼書の「ご依頼人氏名欄」は、必ず団体名を記入してください。
注2) 貴団体からの振込通知書の送付は不要です。
注3) 振込手数料は、貴団体で負担願います。

支出明細書兼支出証明書

支出番号 4

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	② 研 修 費	3 広 報 費	4 広 聴 費		振込料 ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会 議 費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事 務 所 費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）				
支 出 目 的 （支出事由）					
		研修参加費振込手数料支出のため			
内 容					
		令和 6 年 5 月 22～24 日 令和 6 年度全国地域づくり人財塾			
支 出 年 月 日	支 出 先		支 出 金 額		
令和6年 5月15日 14日 	東邦銀行 郡山市役所支店		880 円		
上記のとおり支出します。					
議員氏名 山根 悟 					

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

別紙参照

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。
※欄内に貼付できない場合は、別記第 11 号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

☐ 振込金受取書(兼振込手数料受取書)

☒ 預金払戻請求書・預金口座振替による振込受付書(兼手数料受取書)

振込日
R6年 5月 15日

金融機関名(漢字)を左つめてご記入ください(東邦銀行の場合は記入不要)

支店名(漢字)を左つめてご記入ください

お振込先

みずほ

銀行

大津

出張店所

(○をおつけください) 信 金 信 組 農 協 その他

☐ 東邦銀行

☐

☐

☐

☐

お受取人

該当欄目に○をおつけください

1. 普通 2. 当座 4. 貯蓄 9. その他

☒ ☐ ☐ ☐

右つめてご記入ください

1705319

金 額

十 百 千 万 十 百 千 万 十 百 千 万

11000

お振込先
お受取人(口座名義)

サイコロセブンコングリョウソウケン
シユウサダイダニセニマクシユウ

おなまえ(漢字)

公財)全国市町村研修所

全国市町村国際文化研修所

様

お振込先
お受取人(口座名義)

コオリヤマツキカイコウメイトウ
ヤマネサトル

おなまえ(漢字)

郡山市議会公明党 小根 悟

様

人

日中連絡できるお電話番号

おところ

郡山市朝日1-23-7 町舎6F

消費税込手数料

880

都 度 後 納

このお振込みは、翌営業日
払いとさせていただきます
のでご了承下さい。

当行をご利用くださりましてありがとうございました。

株式会社東邦銀行

出2納
6. 5. 15
東邦銀行
郡山市役所支店

収入印紙

1. 振込金受取書の場合
振込金+手数料(振込
税を除く)5万円以上
の場合は200円貼付
2. 振込金受取書の場合
不要
3. 当店の本人口座への
入金時は200円貼付

株式会社東邦銀行

登録番号

T9380001001018

税率

10%

消費税額

80

このお振込みは、翌営業日
払いとさせていただきます
のでご了承下さい。

●振込先銀行へは、受取人名のほか預金種目・口座番号を通知します。
また、受取人名等をカナ文字により送信します。

●記載内容に不備があった場合は、照会等のために振込が遅延することがあり、場合によってはご入金できない
こともあります。

●振込内容につき訂正・取消が生じた場合は、各種依頼書の提出および別途当行所定の手数料が必要となります。
この場合、振込手数料は返却いたしません。なお、場合によっては取消ができないこともあります。この場合、
取消手続に関わる手数料は返却いたしません。

●通信機器、回線の障害等やむを得ない事由によって振込が遅延することがありますのでご了承下さい。

出張（調査等）申請書兼旅費請求書

支出番号

4

会 派 会 長 様

申請代表者氏名

山根 悟



下記の用務により出張（調査等）したいので申請するとともに、旅費を請求いたします。

記

請求金額	56070 円（1人あたり 56070 円） ※別紙、旅費計算書のとおり	
目的	令和6年度全国地域づくり財塾 参加のため	
用務先	滋賀県 公財 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所	
内容	・人材の活性化について、・スローウェッジを巧みに使	
期間	令和6年5月22日 ~ 令和6年5月24日（2泊3日）	
行程	別紙行程表のとおり	
出張（調査等）者氏名	・ 山根 悟	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
特記事項	TEL	

上記のとおり出張（調査等）を許可します。

会 派 会 長	経 理 責 任 者		受 理 日	R6 年 5 月 15 日
			許 可 日	R6 年 5 月 15 日
			支 出 日	R6 年 5 月 15 日

上記金額を受領しました。

令和6年5月15日

申請代表者氏名

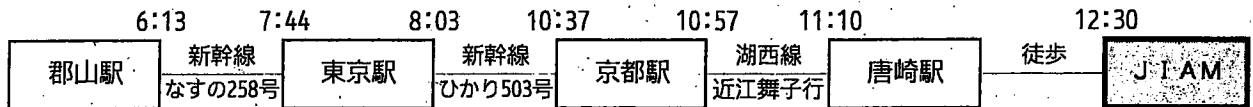
山根 悟



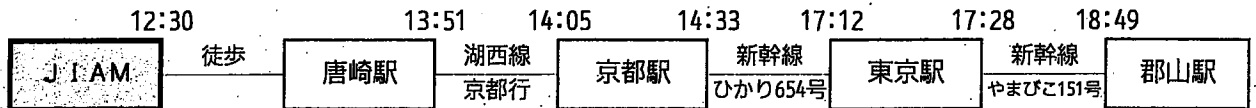
令和6年度 郡山市議会公明党 行政調査行程表

1 行程

□ 1日目：5月22日(水)



□ 3日目：5月24日(金)



2 人員 1名

山根 悟 議員

3 調査内容

令和6年度市町村議会議員研修

○全国地域づくり人財塾

【5月22日】

- ・人材力の活性化について
- ・スポーツを通じたまちづくり
- ・人口減少時代だからこそ「ローカルプレイヤーの心に火を灯す」持続可能な地域づくり

【5月23日】

- ・地域の「おいしい」を形にする地域ブランディング&デザイン
- ・ほぐしてつながる からだと地域と地域おこし協力隊
- ・「人材の好循環」によるこれからの地域づくり
- ・グループワーク

【5月24日】

- ・グループワーク、成果発表、ふりかえり

4 会場兼宿泊先

全国市町村国際文化研修所 (J I A M)
〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号
電話：077-578-5932 (教務部)

5 その他

行政調査旅費計算書

会派名 : 郡山市議会公明党
参加議員 : 山根 悟 議員
日程 : 令和6年5月22日～24日
行先 : 全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号）

5月22日

5月22日		郡山駅	新幹線	東京駅	新幹線	京都駅	湖西線 近江舞子行	唐崎駅									
			226.7		513.6		14.0										
運賃	10,670														10,670		
急行料金	3,740	10,360														14,100	
席種			グリーン														0
実費																	0

5月24日

5月24日		唐崎駅	湖西線 京都行 14.0	京都駅	新幹線 513.6	東京駅	新幹線 226.7	郡山駅							
運賃	10,670													10,670	
急行料金				10,360		4,270									14,630
席種				グリーン		指定									0
実費															0

交通費	50,070	50,070
日当	3,000 × 1日 = 3,000	
	1,500 × 2日 = 3,000	
合計	56,070 円	× 1名 = 56,070 円

※受講に要する経費11,000円に、研修、宿泊、食事（朝2回、昼2回、夕2回）、資料等にかかる費用が含まれているため、宿泊料は支給しない。
※昼食代が上記経費に含まれているため、1日目と2日目の日当を半日当に調整する。

出張（調査等）報告書兼旅費精算書

支出番号 4

会 派 会 長 様

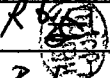
下記のとおり出張（調査等）したので報告するとともに、受領した旅費を精算（返納）いたします。

出張（調査等）議員名

・山根 悟		・	
・		・	
・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

記

期 間	令和6年 5月 22日 ～ 令和6年 5月 24日（ 2泊 3日）					
目 的						
	令和6年度全国地域づくり人財塾 参加のため					
用 務 先						
	滋賀県（公財）全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所					
行 程	別紙行程表のとおり					
内容及び成果	別紙報告書の通り					
旅 費 精 算	受領額	56,070 円	精算額	56,070 円	返納額	0 円

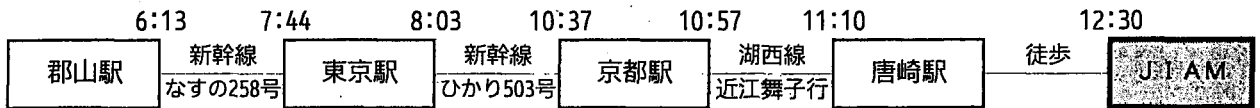
上記のとおり出張（調査等）の内容を確認するとともに、精算を受けました。						
会 派 会 長	経理責任者			受 理 日	 年 5月 27日	
				確 認 日	26年 5月 27日	
				精 算 日	26年 5月 27日	

※添付書類：行程表、調査等先説明資料、要請・陳情書（写）、調査等先の名刺、写真、成果報告書他

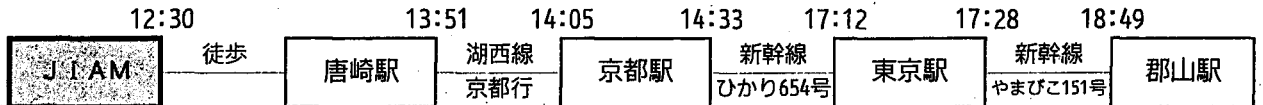
令和6年度 郡山市議会公明党 行政調査行程表

1 行程

□ 1日目：5月22日（水）



□ 3日目：5月24日（金）



2 人員 1名

山根 悟 議員

3 調査内容

令和6年度市町村議会議員研修

○全国地域づくり人財塾

【5月22日】

- ・人材力の活性化について
- ・スポーツを通じたまちづくり
- ・人口減少時代だからこそ「ローカルプレイヤーの心に火を灯す」持続可能な地域づくり

【5月23日】

- ・地域の「おいしい」を形にする地域ブランディング&デザイン
- ・ほぐしてつながる からだと地域と地域おこし協力隊
- ・「人材の好循環」によるこれからの地域づくり
- ・グループワーク

【5月24日】

- ・グループワーク、成果発表、ふりかえり

4 会場兼宿泊先

全国市町村国際文化研修所（JIAM）
〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号
電話：077-578-5932（教務部）

5 その他

行政調査旅費計算書

会派名 : 郡山市議会公明党
 参加議員 : 山根 悟 議員
 日程 : 令和6年5月22日～24日
 行先 : 全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号）

5月22日	郡山駅	新幹線 226.7	東京駅	新幹線 513.6	京都駅	湖西線 近江舞子行 14.0	唐崎駅										
運賃	10,670																10,670
急行料金	3,740		10,360														14,100
席種			グリーン														0
実費																	0

5月24日	唐崎駅	湖西線 京都行 14.0	京都駅	新幹線 513.6	東京駅	新幹線 226.7	郡山駅										
運賃	10,670																10,670
急行料金			10,360		4,270												14,630
席種			グリーン		指定												0
実費																	0

交通費	50,070		50,070	
日当	3,000 ×	1日 =	3,000	
	1,500 ×	2日 =	3,000	
合計	56,070 円		×	1名 = 56,070 円

※受講に要する経費11,000円に、研修、宿泊、食事（朝2回、昼2回、夕2回）、資料等にかかる費用が含まれているため、宿泊料は支給しない。

※昼食代が上記経費に含まれているため、1日目と2日目の日当を半日当に調整する。

受講証明書

団 体 名 : 福島県 郡山市

所属・氏名 : 郡山市議会 議員 山根 悟

研 修 名 : 令和6年度全国地域づくり人財塾

期 間 : 令和6年5月22日（水） ～ 5月24日（金）

上記の研修を受講したことを証明します。

令和6年5月24日

全国市町村国際文化研修所
学 長 荻 澤 滋



JIAM 研修 R6 年 5 月 22 日～24 日

参加者 郡山市議会公明党 山根悟

5 月 22 日 12:30～

導入講義

地域力創造グループ 地域自立応援課人材力活性化連携交流室 地域支援専門官

人材塾の目的

リーフレットにも書いてあるが、知識や経験を持った人が、それを活かし、実践している事が重要。その人材を育成していくことが目的

持ち帰ってもらいたいのは、人と人とのつながり、人脈を作ってほしい。

- 1、講師とのつながり 様々な分野で第一線で活躍している講師の講義を学ぶ
直接対話の時間を設けている。
地域の課題を設けているかと思うが、
それを講師にぶつけてほしい。
すぐに解決できることではないかと思うが、糸口は見つかる
はず。今後も講師と繋がりを活かしてほしい。
- 2、受講者同士のつながり 地元の課題について共有してほしい。
最後に課題の解決についてまとめて報告して頂くが、
共有することで肩の荷が降りるかと思う。グループ
ワークの手法を学ぶと共に、人のつながりを作って
ほしい。今後も連携してほしい。
職員、議員、地域おこし協力隊が参加している。
- 3、総務省とのつながり 私も4月から総務省に戻って地域専門官になったところ
我々も現場の声を聞かないと政策を作れないので、
そういった所についても忌憚のない意見をいただきたい。
気軽にお声がけ頂きたい。更に今後も連携を取れるように
していきたい。今後も地域と繋がっていききたい。

これらのことを意識して頂くと、大事な研修になると思う。

これらの研修を通して地域の発展に繋がっていくことを祈念します。

22日 13時～14時 45分

余吾由太講師

(株)ランブリッジ 代表取締役

スポーツを通じたまちづくり

愛媛県出身 9年前にランブリッジを立ち上げ 主にスポーツ合宿の旅行事業

独立リーグの活動を通して地域とつながる活動をしていた。

2007年に原点を作れた

老人ホームの入所者を松山城の天守閣まで付き添う事があった。

車椅子の方を担いで天守閣まで連れて行った。

もう2度とここに来る事ができないと思っていた、ありがとうと感謝された。

その後野球選手から専門学校に通い、旅行代理店を経由して会社を起業

スポーツ合宿に特化した取り組みから様々取り組んでいる。

地域の方と作る事業 施設も借りたい、地域の団体とのつながりも必要 etc

1番大切にしているのが、地域住民との連携

地域外からの方が来訪されて、施設を使うと地域の方が使えない。

テーマ1 官民連携のまちづくり

テーマ2 みんなが活躍できる組織づくり

テーマ3 システムデザイン？

意識してほしいこと

- ① わかるとできるは違う 間違っても良いのでチャレンジ
- ② 否定はしない
ビジネス（まちづくり）の世界に正解はない

③ 学ぶは真似ぶ パクれるものはしっかり使う。

テーマ1 官民連携のまちづくり

まちづくりのイメージは？

ネットでは？→身近な居住環境を改善し地域の魅力や活力を高める

講師の取り組み（スポーツ庁 WEB サイト参照）

地域スポーツコミッション

インナー事業 地域スポーツ教室など

アウトター事業 スポーツツーリズムなど

例）ある自治体への依頼をした時

スポーツ合宿が進められれば、地域活性化につながる、協力してください！

宿泊事業者、飲食店、施設 etc

回答は様々あるが、本音と建前があるのを感じる。 それを考えていく事が大事

本音は経済合理的な話。儲かる。 建前 社会が活性化することは良いですね。

ステークホルダーの本音を理解

官民連携のポイント

コミュニケーション

中学2年生でもわかる言葉で会話する（カタカナ語など✕）

本音と建前を理解した上で、相手のもしかしてだけどの本音を探る

一貫性とコミットメント

大きなお願い事ではなく、まずは小さな協力から始める

返報性の原理 （お土産のお返しのイメージ）

相手の困りごとに手を差し伸べる

相手が嬉しいと思うことを取り組む

好意

相手が喜ぶ、感謝されることを取り組む

テーマ2 みんなが活躍する組織づくり

鹿児島県大崎町の事例

・人口 12,000 人 ・リサイクル率日本一 ・県立高校跡地が陸上専用のトレ施設
廃棄物の焼却炉を作ろうとしてができなかった。 →リサイクル分別

大崎町陸上競技の成長実現 PJ を進めたが、担当職員は 1 人。

異動したらどうなる？と考えて、官民連携を考えて、講師の所に相談

地域スポーツコミッションで進めていきたいと大崎町職員に相談された。

もう組織は立ち上げられた。

コミュニケーション 本音と建前

暗黙知から形式知へ 地域資本の可視化

居場所と舞台の設定 (福井県立大学 高野先生)

居場所と舞台が人々のウェルビーイング地域のまちづくりにおいて重要な因子である事が分かった。

ウェルビーイング 4 つの因子とは？

やってみよう ありがとう なんとかなる ありのままに

10 人くらい人を集めて 居場所と舞台の設定 のため、価値観ワークショップを開催
相手の価値観を知ること、否定するのではなく、理解ができる。

カラバリューカードを利用して実施

商工振興団体、地域の方、スポーツ関連、大崎町職員などで実施

2 回目には、ビジョン構築ワークショップを開催

スポーツコミッションに携わる方々と、地域を巻き込めるビジョンの設計、周知、定着施策（パーパスブランディング）

ビジョンの策定

グルーピングとビジョンの言語化

暗黙知から形式知へ

共同化 OJT 表出化：マニュアル化 連結化：異なる形式地を組み合わせる

地域資本の再確認 地域資本を委員で共有 大崎町では 100 個くらい出た

スポーツ観光おおさき という資料にまとめた

人材マネジメント とは？

採用 組織文化や期待する職務のスキルとのギャップかないか？

配置

育成 職務内での課題解決スキル向上のための更なる能力開発が必要

（来たばかりの協力隊方も、大崎町のことをわかるように）

報酬 内発的・外発的な動機づけ

研修のワーク例

あなたは亀の子束子の営業担当者です。 より多く販売する方法を考えてみよう

誰に何を提供するのか？

ふるさと納税の返礼品・・・

誰に何を達成してほしいのか？ 頑固な汚れを落としたい時に必要

2022 年 4 月 組織構築

2023 年 4 月 専門人材の雇用 地域おこし協力隊

2024 年 4 月 就業規則の策定 社労士に協力をいただいて

6 月法人化 人材育成研修や人事評価制度

スポ飯を募集し協力店を募った 揚げ物ばかりでは嫌だなあの声カタチに

2024 年実施予定のもの

E バイクで市内周遊、ビーチバレーの会場 ディスクスポーツ

エナジーゼリー：あくまき（戊辰時代の栄養食）を現代的に（KAGO 食）

森も見て木も見る思考

細かいところも、広く俯瞰的にも見てほしい

因果ループ を個人ワークで実施してみよう！

講義のポイント

本音と建前

ステークホルダーとの連携

組織と人材

居場所と舞台、暗黙知から形式知へ、人材マネジメントサイクルを

散りばめ整合性のある行動にする

森も見て、木を見る思考

最後に

ノウハウよりもノウフー（know who）

誰が自分の人生を変えるキーパーソンになるか分からない。

いざという時に頼れる人が何人いるかが大切

個別質問

飯豊町

6000名の人口

部活動の地域移行の課題

スポ協、学校関係者など集めたが何をどうしたら良いかわからない。

総合型地域スポーツクラブもあるが、地域の方がより今まで以上に地域づくりに参入できる方法は？

A 地域移行のポイントは 誰が何を教えていくのか？ それをアサインしていく

お金がかかる課題はあるが、まずは、地域に人材がいるのかどうか？可視化しているのか？指導者がどれくらいいて 隠れている人はいないのか調べることは大事。可能性として高いのは母親 お子さんの手が離れた時に女性の方もスポーツを実施していたはず。部活動の指導で時給を高く設定していけば発掘できるのではないか？人としての受け皿とその人の割り振り

スポーツコミッションが割り振りしていこう、スポンサーの協力をいただき費用負担を減らそう。文化にはお金を払うがスポーツにはお金を出さない傾向がある。

→s 小さな町なので男性が前に出るのですが、女性の活躍参考になりました。

Q 組織開発を実際行うときにビジョンの策定をせずにトップダウンがほとんどの状況

これらの取り組みを進めるのには、どのくらい時間がかかるのか？

A 長くというより、短時間を何回かの方が良いと思う。

雑談がコロナ禍で減った、雑談の中で誰がリーダーシップを発揮しているのか？

砂遊びの時に山を作るときに必ずどのように高くするのか？ということで誰かが自然にリーダーシップを発揮している。

お互いどうしていきたいのかという方針を示せればと思う。

相手を否定しない言葉遣いを意識して取り組んでみてください。

兵庫県多可町

Q

高齢化少子化によって懸念されている16年後に向けて地域共生の社会を気づかなければならない。女性の参画が必要と痛感している。特に若い女性。それらの人に参加していただくためには？ 来ていただいても一度だけ、家族との時間を取るのも忍びない。

A

今、子育て世代の女性を呼びたいが、続かない、男性も来る会議か？

男性も来る。様々な年代で来る。

なぜ来ないか聞いてみたか？

土日開催、託児も用意したが、来た方に土日を取られるのは来たいけど難しい。

最適な日時も設定しているかと思うが、女性だけで実施してみてもどうか？

知らない人の前で自分の意見を表明できる若い人は稀有、だったら20～30代の女性だけでアイスブレイクも入れて楽しい取り組みにしてくことが大事ではないか？

愛知県新城市

Q まちづくり組織はない。自転車を通して組織が作れないかと取り組んでいくが、市は、協力隊の雇用についてもお金がないと厳しいという。自走できるようにしたい。

A

大崎町もスポーツ庁の10分の10の取り組み 一般財源も入れているが、スポーツコミッション事業の取り組み、農林水産省のイノベ補助金を使って取り組んで見ると委託費を捻出できる。事務局長を雇うという事があるので、会計年度の縛りがあるが、正社員にできないところがあるので、市も出している。

何を自走とするか？にもよるが、一般社団法人にして取り組んでいくところもあるが、自主財源は何%まで出すのか目標設定をして取り組めば良いと思う。

愛媛県伊予市

Q スポーツコミッション ビーチバレーの聖地にしたい。

プロスポーツ球団と地域の団体 スポーツコミッションの関わりについて

A スポーツを通じて地域を活性化させるのが目的かと思うのが、Jリーグのしゃれんってご存知ですか？しゃれん、社会福祉関連の方からプロ球団に対して助けて～というかたち。お困りごとを抱えている団体から、スポーツを通じて関わっていただく事が大事ではないか？

社会福祉だけではなく、民間企業もプロスポーツチームを使っていいのでアイデア出してくださいの方が街にとっては良いと思う。

広島県広島市

Q 地域関係者の役割

A たくさん登場人物がいるが、どういうふうに主役になっていただくか？

本気になるためのインセンティブはあるのか？WIN・WINの関係を望むと思う。

相手が何を欲しているのか傾聴する。それが本音なのか？というのは大崎町の時も学んだ。大崎町の時には地域おこし協力隊には、毎日違う定食屋に行って一言でいいから話してこい！といった。お時間作っていただいていいですか？よりご飯食べに来ました、何か一つで良い。

熊本県熊本市

Q 価値観カードが面白かったので、具体的に教えてください

A 52枚を使って、5枚から1枚合わない価値観を外して一枚追加でもらう。

22日 15時～16時 45分

講師

(株) MISO SOUP／瀬戸内うどんカンパニー (株) ／ (同) 三豊鶴

代表取締役 北川 智博

テーマ

人口減少時代だからこそ

「ローカルプレーヤーの心に火を灯す」持続可能な地域づくり

2024 年は国も変わってきたと感じている。

1 秒でも無駄にしないで、新しいエコシステムを作って行かなければならないと感じている。私の経験と、官上げをシェアしていくことにしていく。

高知県出身 漁村で生まれました。

人口減少 1 番減っているタイミングで子ども時代を過ごした。

施設がなくなると人がいなくなる。

親も、外に逃げなさいといったくらい。頭のいい人は特に出て行った。

中 3 くらいの時に地域にたづさわる仕事をしたいと考えていた。

職が続けていけなくなる時代になると感じた。最適化、価値を付加するなどしなければならぬ。自治体職員みたいなやり方はできないと考えてきた。

なりたい職業みたいな出口が決まっていたわけではない。地方創生の 60-70 代のレジエントたちも素晴らしいが、その人のもとでやるのは違うと感じた。

20 代は今後地域のためになりそうな仕事をしようと、IT ベンチャー、輸出、PR

IT ベンチャーで上場に携わったおかげで、金融に触れる事ができた。

日本は金融教育が遅れている。金融を語れる人が日本は少ない。

資金調達しなければならない、機関投資家、銀行、ステークホルダーになる人たちにお金くださいとやってきた経験は、基礎になっている。

地方金融機関、補助金、助成金、自己資金、・・・これらを地域の方々と取り組んでいる。

29 歳の時に MISO SOUP を立ち上げ、15 年の計画を立てた。

経済性と精神的な豊かさが共存する地域社会モデルを創出する。

世界の地域社会に貢献する。

日本の状況だけではなく、世界も同じ。

日本の地域を復活させていく、ソリューションは世界に役立てられるのではないかと
高校生の頃から考えていた。

インドの農村、台湾の農村についても取り組んでいる。

日本の自治体の取り組みだけではなく、海外ともシェアしていく。

とどのつまり、私がやりたいのはシェア

足りないものを持っている、地域と地域で繋がっていくことでできる。

実施している事業内容

B2G Local Community Development 地域力開発事業

B2B Local Business Developmet 地域ビジネス開発事業

香川県三豊市

香川県西側5万人くらいの市 7町合併で誕生した市 スタンダードな規模

地域に欲しいものは自分たちで作ろう やってしまおうという気質

日本初の完全民間型地域商社の設立

5年間で観光客数100倍の秩父が浜の運営 指定管理を数社で取り組み

5,000名が50万人の来訪につながっている。

プレイヤーとして飲食、食品、流通、宿泊業も経営

観光需要をきに新規プロジェクトが70以上創出

ローカルスタートアップ事業をどんどん進めていこうとしている。

和歌山県紀の川市

地域ビジネス人材の育成 事業のたねを増やす

地域事業者間の連携力を強化している。

全国のクリエイター100名以上がPJに参画

などなど

講師流の LOCAL DEVELOPMENT

- ・ プレーヤーの地域事業に着火する
- ・ 1 事業者単位で、地域資源を活用した PJ が始まる
面白そうだなあと感じて、セカンドプレーヤーが出てくる。
小規模事業者が 1 人で伸ばしていくのはきつい
10 個くらい小さい事業の立ち上げが進むと、お互いの課題が共有できたりして
協力していく形になりやすい
- ・ 事業者同士が連携して地域に必要なものを作る 共同 PJ が始まる
最初は、1 人で進めていく、稼ぎたい、伸ばしたから・・・でも昭和とは違う。
協力していく事が大切。
- ・ 地域内 PJ を牽引・管理するまちづくりカンパニー/クラスターができる。
行政はここからやりたがる。

↓

ここまでくると地域間連携が起きてくる。

面白そうだ、盛り上がっていると感じたらそのようになってくる。

→ 交易、交流、関係人口も増える。

B to B について

- ・ 地域資源活用に特化した地域ビジネス開発
農業、観光、飲食、食品、コミュニティ領域まで
全国 150 以上、多様な地域ビジネス構築実績
- ・ 事業企画、資金調達、伴奏支援、販路開拓まで幅広い支援領域で小規模例先起業え
も事業開発にろ取り組める体制を構築

などなど

日本は超高齢社会に加え、資本主義が飽和した超成熟社会

市民の方や民間の方に丁寧に説明していかないといけないと感じている。

- ① 高齢者医療福祉など社会サービスの需要増
- ② 新たな行政業務領域の増加
- ③ 自治体職員数の不足

益々大変になってくるが市民は理解していない。戦後から考えが変わってない。

1947 年施行 地方自治法、地方財政法、地方税法、地方公務員法

1954 年施行 地方交付税

市民の認識傾向 →税金を納めているのだから民間領域以外は全て行政の仕事
などの考え方を改めさせる市民教育が必要！！

自治体サービスを維持していくために

- ① DX による業務効率化 ソリューションあり →肅々と取り組む
- ② 専門人材外部人材活用 ソリューションあり
- ③ 一部業務の民間移譲

民間側から以上については提案させていかないと立ち行かなくなる。

減少する職員マンパワーに対して増加する業務領域

自治体業務範囲の見直しや業務の民間移譲は

地域の市民力と地域力のエンパワメントがなければ成し得ない

国の動向

内閣府 地方創生交付金など

総務省 地域おこし協力隊など

農水省 農泊、農山漁村地域づくり体制整備など

中企庁 地域課題解決事業推進に向けた基本指針策定

国交省 二地域居住法案制定

地域の事業者にも合理性のアップデートしなければならない と伝えてほしい！

以下のキーワードがより重要性を増す！

国が使い始めている言葉は、スタンダードになる

- ・ローカルゼブラ企業

社会性と経済性を持ち合わせたローカルスタートアップ的存在。

地域課題解決に取り組むモデル企業／PJが存在するか。

- ・地域プレイヤーの可視化、繋ぎ直し

既存組織、年代、業界の縦割りを超えて、地域プレイヤーがフラットに改めて

ネットワーキングされ、人的資源を可視化する、

土づくりと同じだと思う。今までは、補助金突っ込んでドーピングしてやっ

てきたが、豊かな土壌を作成しよう

- ・連携力

地域の構造課題に対して、新しい取り組みが始められる地域内連携力。

そして、魅力的なところには、つながりが生まれる。

三豊市地域商社のケース

地域事業創出動機に火をつける まずは自分が始めた。

讃岐うどんの自作キット 教育キット

→なぜこうしたのか？

発掘 地域資源 ✕ 社会ニーズの手品を示したかった。

見せることで、なぜやったのかを黙っているのではなく、メディアでがっちり

喋った、そこで、地域の人に信頼してもらえた。

どんな人間が何をやろうとしているの？競合するんじゃないの？の声を一蹴
話をしようと言ってくる人も増えてきて、ポテンシャルがわかってきた。

小規模事業の多角化と地域事業者の巻き込み

地域事業者が連鎖的に新しいPJを創出し

「好きな地元を守る」との意識が醸成された。

地域コミュニティ ✕ 観光開発

- ・ 地元企業、地域商社、大阪本社の環境系デベロッパーの3社の指定管理グループとして運営、管理を受託
- ・ 初期のハード投資のみ行政事業費でランニングは委託費をもらわずに逆に売り上げの一部を市に収めることで民間の経営感覚を自由度高く発揮できる環境を整備
- ・ 観光開発と同時に地元プレイヤーの交流、コミュニティの場として機能させ、変化の起点となる場が生まれた。

人口減少の社会ですので、量を求めるのではなく、リピート力を求めていくと良いと思う。

5社共同出資による酒造再生事業 建物も老朽化して壊さなければならなかった元酒蔵

シンボルPJ時代の流れ的に必要のないもの、古いものを活用するという

機能しないものを機能させるPJ 危険だから壊そうぜ税金で という地域に未来はないのではないか？

シンボルであった大切なものを守れない地域に未来はあるのか？

これを僕らが、事業でやろうと立ち上げた。

この酒蔵を100万出資した。車も家もなかった私が初めて持った資産が酒蔵でしたw

たった五十人くらいのおばあちゃんばかりの集落。

そこに多くの人々が来訪して、一万円のディナーを食べにくるまでになった。

同じような企業が出来始めた。

これまでに紹介したのは、観光系の話だが、地域課題に対抗する地域マネジメント的な取り組みにならないといけないと考えた。

瀬戸内暮らしの大学（株） 18 社共同出資

社会に出てアップデートされていない人が多い。学ぶと発表したり取り組みたいとなるけど、ほとんどの人はそうではない。地方に人が戻ってきている。都会で学べないから。

公共事業ではなく、地域でこんな仕事をしてみたいと考えて取り組んでみたいと考えて、子供達が働くようにしたい。

2年目くらいは厳しい潰れると思ったことがあったが、この大学も3年目で黒字化しそうだ。

オンラインでも地方から受講する人が出始めている。

ドワンゴのゼン大学が探究の授業でサテライト校で受講するようになった。夢が進んだ。

出資は200万しかない。なぜならイニシアチブは私たち地元

社会実験で投資をしたと感じている。

地方こそこの社会実験できる土壌

暮らしの交通 15 社 共同出資

民間が作る第3の交通の選択肢、瀬戸内の暮らしの交通

子供達が、行きたい部活に行けない、楽しそうなのに・・・という状況などをなくしていきたい。タクシーでもなく、公共サービスでもなく、中間。

悩みながらも取り組んでいる。

本来なら合理性がなくてできなかったことを一社200万とかの分散投資をしていただいて、協力しているから成り立っている。

質問と回答

プレイヤーの心に火を灯す

腹を割ったコミュニケーションの総量 時間と回数

相互理解

行政マンも自分ごと化

経営合理性の変化を理解してもらう（論理で動く人、感性で動く人など）

地域のことをやらねばならない罰ゲームではなく、こっちの方が合理的なんですよ！と理解してもらう。

多くの人を巻き込むコツ

急すぎない

信頼関係の輪を広げる

スパイラルが回るまでに、目も心を離さず丁寧に寄り添うこと。役割や出番を作っていく。

地域の中で役割と出番を増やす意識を関係者でもつ

キーパーソンの見つけ方

ヒアリングの絶対量を増やす

紹介の連鎖 テレホンショッキング

参考）地域事業者の巻き込み方

- ・とにかくサシでキーマンと飲み、課題や目標、地域への思いの本音を聞く

（信頼関係醸成）

- ・チャレンジをしている外のプレイヤーを読んで技論する

（地域内議論の活性化、具体的な行動を喚起する）

- ・課題や熱量がシンクロするプレイヤーで事業アイデアや実験をする。

みんなで取り組んで、みんなで取り組む。

まちづくり組織について

10年後を見据えたまちづくり組織のあり方とは？

- ・ 地域としての KPI を設定するなど新たな地域指標構築
- ・ 教育
- ・ 金融
- ・ 止められる選択肢 波に乗ったら引き渡せる所まで、個人では最後までやれない
- ・ 国内地域間連系
- ・ 海外地域間連携

地域の認知とアライアンスの獲得

- ・ 市民に寄り添って不安を最初に取り除くモデル 事業を策定

伴走の仕方

行政マンとして以前に、一市民として協力、応援する姿勢

地域プレーヤーと相性の良い外部人材登用

総合計画や地域戦略と地域PJを町内で融合させる

権限移譲

権限移譲したい業務をリスト化、ランク付

主要な地域プレーヤーで検討協議し、

実施しているPJとのシナジー性や展開性を見極め

徐々に権限移譲

財源確保

クラファン型ふるさと納税/ふるさと起業家支援PJ

交付金、補助金選択肢

地域内で少額でも出資を促す

テストしたりするためには資金がいる。総務省も準備してくれているかと思うので、使ってほしい。自己資本や出資を募ってやってみたらとの実験をお勧めする。

地域資源の発信

- ・ 価値の見直し 地域内→難しいね、どうしよう →外部の方に意見をもらう
- ・ 具体的な事業ビジョンを描く
- ・ 展開イメージを描く

17時から

地域活性化センターの概要説明

事業の3本柱

情報提供

月刊誌 地域づくり を是非ご一読願いたい。 各地の事例を毎月展開

ひとづくりと研修・交流

まちづくりの助成などの支援

5月23日(木)

9時～グループワーク 地域課題の抽出

10時15分～

地域の「おいしい」を形にする地域ブランディング&デザイン

講師 (株) FOOD SNOW 代表取締役／6次産業化プロデューサー

平尾 由希

6次化といっても、1次産業からプロデュースした方が良いこともある。

宿泊旅行調査（参照：じゃらん宿泊旅行調査 2022）

食は圧倒的な旅のチャンス そして1日5回もチャンスあり

3食とおやつ、夜（飲み）

有名なお当地グルメよりもおいしいものが隠れている。

私の故郷長崎でいえば、ちゃんぽんよりあごだしラーメンが地元には人気
旅先で美味しいものを食べたい、魅力ある特産品や土産物を購入したい。

アメリカ発ではあるが、フードツーリズムが確立されている。

地域の食のビジネスコンテンツ

多様なステークホルダーがいる。有機的に繋がりを持つことで魅力が増す。

大まかに三つに分けられる

生産・加工品、レストラン、フードイベント

波佐見町の事例 観光協会がコーディネートして地元の陶器に地元で作った
米粉クッキーを入れて販売。ヒット商品 年間1,000万売り上げ

旅先では、食やお土産など食べ物に50%以上の消費があると言われている。

天候に左右されずに食を全面に出すことで観光客を引き込むこともできる。

地域を変えるためにどのようなコンテンツがあるのか、一緒に考えながら作ってきた。
迷った時には、本を読む（寛裕介著 ソーシャルデザイン実践ガイドブック）
森の中に道を作る活動

一部のデザインなどだけではなく、ソーシャルデザインを意識することが大事

食は地域を知る1番の近道

地元食を地域の人に取材して本にすることで、観光資源が可視化される。

例：波佐見町 もてなしの波佐見食

波佐見町は有田焼の下請けをしていたが、産地偽装問題が話題になった際に、独自のブランドを作ろうと波佐見焼が立ち上がった。春夏の農業と秋冬の窯業が町の産業
長崎県で唯一海に面していない自治体 鯨の塩漬けなど海の食文化がある。

地元の方と地元産品でのコロッケを作って、イベントで販売したりする。

山口県長門市俵山地区

温泉文化のある集落 自宅に風呂がない代わりに地域風呂がある。

食事をするところがほとんどなく、カレー、ラーメン、なぜかフグ刺し・・・

夜も宿で食事が出されない・・・ 人が来ない 温泉はいいのに負のスパイラル

→そばを仕事の合間に地元の壮年が作り、地元のジビエと共に提供、

ゆずきちという柑橘を木製の桶に半分に切って入れてサワーを作る商品などは、
外国人にも人気

鹿も多い 鹿肉ハンバーグ

悪い事例 栗原市のジオパークの紹介チラシ

美味しそうに見えない写真 ストーリーもない

それを、取材から開始し、地元の色の背景も含めた冊子にまとめた

波佐見焼の特徴は分業化 型、生地、窯元、販売

型の処分に困った。リサイクルにつながる取り組みを推進。

課題も多かったが、利益が得られる取り組みとして認知してもらったので、

時間をかけて取り組みを進めることができた。

質問と回答

どのように行政として関われば良いか？

人は簡単には変わらない。リサイクルについても分別をお願いして3年ほどかかった。変化を嫌う人には、汗をかいている姿を見せることで徐々に変わる。

人の考え方や行動の変化のプロセス

① 解凍

一定方向に向かっていた集団に新たな考え方が入り、混乱が発生している状態

解凍の発生条件

現状に対する強い危機感

自分たちにとってのメリットの認識

やってみたら楽しかった！という経験

② 移動

新しい考え方が主流になりつつあり、最も混乱している状態

③ 再凍結

新しい考え方が主流となり、新たな行動の規則となった状態

地域づくりに必要な人材

新しいこと・面白いこと・変わったこと を考え出して、

実行に移そうと汗をかける人

+

地域において影響力の強い仲間

+

地域の外にいる仲間（外部人材）

新しい方向性をもって語れる人、共に努力してくれる協力者の存在

地域において影響力の強い人を仲間にする。

人の話を聞いて、どのような影響をする人がいるのか、飲み会の場で色んな話をしてきた。

地域を変えたいと思うなら、馬鹿者、若者、よそ者と言われているが、どんどん私のような人も使ってください。

直接対話（質問）

邑南町の事例 A 級グルメ 人が変わると進まない事例もある、役所内でも抵抗勢力があるかと思うが、仲間と共に進めてほしい。

長野県・伊那町 （役場職員ではない支援事業者として今回参加）

Q スピード感が出せない集落支援で、行政側に対してのアプローチの仕方

A 民間と違って、失敗をしないように取り組んでいるかと思う。人事異動があっても、取り組みに対して後方支援されている課長さんもいた。また、新しいところでできることが大事かと思う。上手い解凍でなくすみません。

和歌山県紀の川市

Q マネできるようなものもあるかと思い、良い刺激があった。

再凍結というところで、地域経済循環をやってみたいと思うが、補助金が切れた時の自走が難しい。何か良いアドバイスを

A 持続的に開発商品売っていくのは大変。意外と疎かにしている商品がある。

試作したものをたくさん試食してもらって、声を聞く。

どうやったら売れるのか？ 下流から

どこで売りたいのか？ 例えば、同じ商品でも小さいサイズが売れたりする。

誰に、どこで売りたいのか、販路から考えていくことが持続のある商品の秘訣

会津の冊子をまとめるために、観光客に向けた冊子ではなく、プロの料理人に向けた冊子、飲食店で使ってほしい視点。どの生産品をどこに買ってもらいたいのか？ターゲットを見つけること。農産物に対する客層、年齢層を調べていくことが大事。

昭和村の道の駅においてあったりっする。結構前の制作だが、体験と繋がると得られるものがある。地域の情緒と共に楽しんでほしい。

23日 13時～14時 45分

ほぐしてつながる体と地域と地域おこし協力隊

講師

つちのと舎 代表 一般社団法人しまね協力隊ネットワーク 代表理事

三瓶 裕美

KP法で自己紹介

体育学を学び、トレーナー、エステティシャン、セラピストを経て独立

ボディケアサロンを開業 時間的な余裕ができて、地域とつながったりしてきた

2011年の震災を経験し、生き方を問い直した 農ある暮らしをしたい！

地方に移住したいと思ったが・・・収入と3年間地域とのつながりもできるということで、地域おこし協力隊として島根県雲南市に移住

2004年に6町が合併。小規模多機能自治体 大東町の塩田地区 200名ほどの人口

8月に着任 地域声を聞くことから始めたが、やろうとしていた廃校利用ではなく、別のことを実施しつつ、ミスマッチのショックで、大変だった時もあったが、

任期3年をまっとうできた。

その3年間の暮らしとしては、農業を始めて取り組んでいく。

OBOGになった方のセミナーがあったので参加した。

稲垣文彦 地域おこし協力隊サポートデスク スーパーバイザーが講師だった。

地域づくりの足し算と掛け算の法則

地域に対して多少なりとも出来たことがあったことを再認識できた。

取り組んでいた内容として、地域の広報誌がなくなったので、地域のための新聞を作成した。小学校は廃校したが、小学生は何人かいたので、イラストを依頼。

太鼓の絵を見て、話を聞くと祭りイベントでは、子どもたちの太鼓がオープニングを務めており、過去に太鼓を叩いた大人も興味を持ってくれていたのので、太鼓をイベントで叩いてもらうために準備をした。まず必要とされているのか、太鼓に対しての想いについてアンケートをとったが、個人ごとのアンケートを実施した。住民にも個人アンケートは好評で地区計画を立てるためのアンケートも戸別ではなく個人別で取り組めた。

農業については、協力隊着任直後から稲刈りなど実施した。

今は、農地付き空き家を購入して、民泊カフェのつちのと舎を開始

それ以外は、協力隊のサポートデスクなど国、県、市、地域と様々な取り組みを実施

協力隊制度をより良くするためのツボ

- ① 制度理解を深める
- ② 制度運用設計をしっかりとる
- ③ 活動内容を具体的に企画する
- ④ 募集と採用、広報
- ⑤ 関係者への導入前研修、隊員への着任時研修

- ① ～③を中心に解説

制度概要

都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を移動し、生活の拠点を移したものを地方公共団体が、地域おこし協力隊として委嘱

隊員は、一定期間、地域に居住して、地域ブランドや磁場製品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの地域協力活動を行いながら、その地域への定住定着を図る。

2009年の制度発足から多様な地域協力活動と運用体制が敷かれてきたが、

関係者が協力して改善しながら続いてきた制度

各自治体でも協力隊のサポートが大変と感じている方もいるかと思いますが、サポートに OBOG を活用するための予算が昨年作られたので、ぜひ使ってください。自治体としては、協力隊制度に取り組む大目的が軸になる。

例えば、地域の再発見をしてもらおうとコーディネーターとしての肩書きもつけるなど。

制度設計

財政措置 活動費 520 万のうち 320 万報酬 その他の経費 200 万

組織的には、取りまとめ課ですべての隊員を掌握することが望ましい。隊員によつては、所属される課での扱いの差に悩む声などがサポートデスクに届いる。移住を伴う制度であることも認識しておく

住まいの準備は大切、心と体のバランスを保つ意味でも。

活動拠点については、どこにいるかで、誰と繋がれるかが変わる

任期後も住み続けたいくなる・関わり続けたいくなる 人との繋がりが作れるように

協力隊の活動は WILL CAN MUST の複合

どこまでが活動なのか？MUST やるべきことを明確にする、そうすることでできることとやりたいことが整理されてくる。

体づくりと地域づくりのつながり

体づくりで大事にしていること

体の声を聞く、良い姿勢は楽な姿勢、こわばりに気づき緩むことを許す

役割と繋がりを大事にする 地に足をつける

体をケアする仕事で大意にしていること

気持ち良いこと、お話をゆっくり聞く&話しやすくなるよう返す

話すは放す、言えるは癒える

なぜ、そうになっているのか、全体を俯瞰してみる

痛いところが原因とは限らない

受け入れてくれるところまでほぐすを繰り返す

無理なくゆっくり薄紙を剥がすように

自分でケアする方法を伝える

上記のことは気づいた時には地域に関わる時も同じであることに気づいた

子供達のダンス指導を通して、過去にダンスをした子から相談されることも出てきて、行政につなぐなどもできるようになってきた。

23日 15時～16時 45分

「人財の好循環」によるこれからの地域づくり

東京都立大学法学部教授 大杉 覚

参考図書「コミュニティ自治の未来図」、「これからの地方自治の教科書」

地域づくりとは？

- ① 良きものを「保存」すること
- ② 悪きものを 規制 すること
- ③ 地域の資源を有効に 活用 すること
- ④ 必要不可欠なものを 整備・拡充 すること
- ⑤ 以上全体を 結合 すること

まちづくち、地域づくりが1つの分野で行う仕事のように感じるが、そうではない。

縦割りで進めていくことについては、考えた方がよい。

自治体経営のコア ただし、自治体だけでは完結せず。

人口減少など厳しい条件のもと進めていくことを理解する。

地域づくりの3原則

- ① 自発の原則：その取り組みが自発的な動機に基づくものであること

何か大規模なリゾート開発で進めて当たれば大きいなどというところもあるかもしれないが、そういう形ではない。

『発展する地域・衰退する地域』文庫本 1000年スパンでの盛衰を綴っている長い目でみるところ、短期で見るところ、様々な視点が必要

- ② 自前の原則：自前の地域資源を活用すること

- ③ 自在の原則：地域外資源を自在に活用すること（外発）

地域外だけにお世話になることは、いけないが有効活用はだ大切

ほとんどの地域がこのような原則難しいと言われる。しかし一つずつ進めていくことが大切であり、民間企業は100のうち2~3成功すれば良いと考えている。

自治体においても難しく考えずに取り組むことが大切。

ギフトのしての人財

- ・ リソースとしての人材という視点

誰もが財宝＝ギフト（才能・贈物）としての人財

本来誰もが何かしらの才能を持っている。

- ・ 本当に担い手不足か？ ～地域には人がいる、若者がいる、女性がいる、

活動する人たちがいる、から出発

- ・ 誰もがその持つギフトで輝くような、出番づくりや役割回転 role rolling などの

条件整備が重要

躍動感がある地域づくりをするためには、リーダー1人で引っ張り続けるのは

無理がある。いろんな人がいろんな場所で活躍できているのか？

内発自在をもう一度各自治体で再確認してもらいたい。

地域づくり人材を確保する

- ・地域づくり人材 確保欄にポイント

地域人（地域住民や関係人口など多様な人材）を 誘い込む ことで、そのギフトを輝かせ、地域づくり人材へとアクティベートする

決め手となるのは人材の好循環とその仕掛けとなる地域のプラットフォームの形成

重要なのは人材の好循環

住民を誘い込む。（図参照） コロナ禍で止まってしまった後、住民が必要ないなど感じたら、戻ってこない。

地域づくりに巻き込むは NG

上から目線の巻き込むは NG 巻き込まれた側とすれば貰い事故

誘い込む力の大切さ ワクワク感で心から夢中にさせる

目指すは 誘い合う、誘い合わせる 交流・連携・協力の関係づくり

コンセプトは楽しい

- ・楽しいに対する妙な背徳感？

- ・楽しいで誘い込む

継続的かつ創造的な地域活動の共通項は楽しい

若者を含む多世代からの関わりしるを増やしやすい

口コミで誘い合う・誘い合わせる 連鎖に発展も！

課題解決から入らない （課題解決をしないということではない。）

- ・地域課題の解決を！ と重荷を背負わせがちな行政のコミュニティ施策を見直す
- ・重要なのは課題解決から入らない （集いの場にくる子たちの生活などは正に！）

課題解決は入口でも出口でもない

多様な活動がマッチングされる中で、分かち合い 支え合いによる寄り添う姿勢を通じて問題解消や課題解決が図られる。

チーム我がまち

適当な距離感と共感のバランスをとりながら、さらっとホカホカな人間関係をベースに誰もが出番があり、誰も取り残さないよう、一つのチームかのようにまとめ上げられた地域のプラットフォーム

それぞれの地域にふさわしいチーム我がまちを考えていくことが重要

○昨年度の地域づくり人材の養成に関する調査研究報告書をもとに解説

総務省研究会の調査研究：示唆

- ・ 誘い込む仕掛けの多様さ

中高生・大学生時代の学び・経験、社会人での職務経験

積極的な学びの環境整備（学習・実践型）学んだけで終わらないこと

- ・ 人材の好循環が多様な人材を養成する視点

- ・ 補助金などの財政支援だけではない伴奏型の行政の関わりの重要性

直接対話（質疑応答）

Q 発想力を養うために鍛えること、気をつけること

A 地域の中でいろんな活動をされているかと思うが、日頃からそれらをどれだけ追っているのかは重要。一市民からの視点で見てみるのが大切。体験として、週末とかに集まりがあるところに顔を出したりすることでつながりが見えてくる。それらを知っておくことが大切。発想力よりも重要なのが、地元のことをよく知ることが大事。

Q 地域活動以前に自治会に参加しない若者が増えてきている。先生が見てきた中で、多世代の誘い込みがうまく行った事例があれば教えてください。

A 最近の話ではなく前からかとは思いますが、自治会が若くないのがどうしてもある。若い人が自治会に入っていくために、自治会側から若い人たちに入っていくことが大切

なのではないかと思う。若い人が取り組んでいる取り組みを自治会側に入っていくことができればそれが良いと思う。南砺市の自治会で部会として若い人の部会を設けて祭りなどの取り組みを進めている。

Q 関わってきた中で、解決から入らない中で、止まってしまった時の対処法

A 年代世代の問題もあるが、地域について考えるときは、地域課題をどうするとなりがちだ、町内会大事だと感じていながら、町内会を疲弊させることもある。

学校区でまちづくり協議会作っているところもあるだろうけど、形がけになることはやらない方がよい。課題解決ではなく、あそこの団体はマルシェばかりやっている！

と怒るのではなく、人が集まってきていることを喜ぶべきであり、まずはそこから。地域の人とじっくり話す機会も作れていないだろうから、地域の人たちと対話の場を作るところから始めてはどうか？

Q 地域づくり人材を確保する、誘い込みという言葉あったが、移住定住を進めていきたいが、うまく進まない。

A 地域の住民と検討者が対話したときに、どのような話をしているか確認してみるといい。大人が、若者はどんどん出ていけ！と言ってしまえば当然人はいなくなる。

うちの自治体は、こうゆうことがある！と言えなければダメだと思う。

是非誇りを持って受講生皆さんが言えるようになってほしい。

住民が住んでていいね！と言えるようにならないと、魅力は感じない。だから市内の人への意識醸成を測る。

五城目町 廃校を改造してオフィスを作った。そこに移る人を募って移ってくる事例もあるが、基本は、移住した人が良いところだ！と情報発信していただけるかどうかは大切。

Q 地域の高齢化が進んでいく中で新しいコミュニティの創造についてどう進めていくか？

A 薄い繋がりでも良いから、いろいろな繋がりを大切にして地域としての厚みを作っていくことが大切である。こうゆう仕組み作って大事にしていきましょう。

24日グループワーク及び成果発表

別紙参照

講師講評

- ・ 地域の人たちとも、同じような楽しいやりとりをできてますか？
是非取り組んでいてほしい。
- ・ ビジネスに繋げていく点などは、共有していてほしい。
- ・ 足を運ぶ時間を作る点は大切。今までの行革は足を運ぶ時間も削減していた、残すところと削るところを誤ったのが過去、これからは、助けてほしい。
- ・ 対症療法だけをすすめていた、反省する点は大切。
- ・ 課題も見なければならないが、問題構造全体を見ていくことが大切であり、それを行き来することが大切。
- ・ 合併から時間が経って、20年の振り返りをした点は素晴らしい。プラス面、マイナス面もある。
- ・ 危機意識、危機感が足りないのでは？と感じている点は、ほのぼのしているだけではなく、実は、諦めが入っているのではないかと感じる必要はない、チャレンジすることが大事。
- ・ 外部人材は、外部のままとは限らない、内部人材になってほしいところもあると思うので、使い方に注意
- ・ 協働という言葉、協創 協働はコラボレーション 一緒に想像していくという、発想という点を意識して取り組んでほしい。
- ・ まちづくりのスペシャリストとは？自治体の職員はそもそもスペシャリストではないのか？意外とその定義はできていない。是非考え続けていただきたい。
- ・ 突き抜けていく姿勢は、大事かと思う。最初は何なんだと言われるかもしれないが、評価される時が来るはず。柳川堀張物語 映画にもなっている。職員として取り組んできた 広村デンで検索して調べてほしい。本当に突き抜けた人、是非知ってほしい。

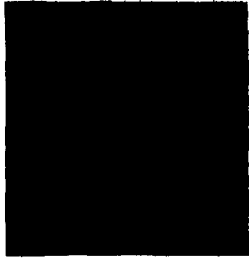
令和6年度 全国地域づくり人材塾 3班まとめ



山根悟

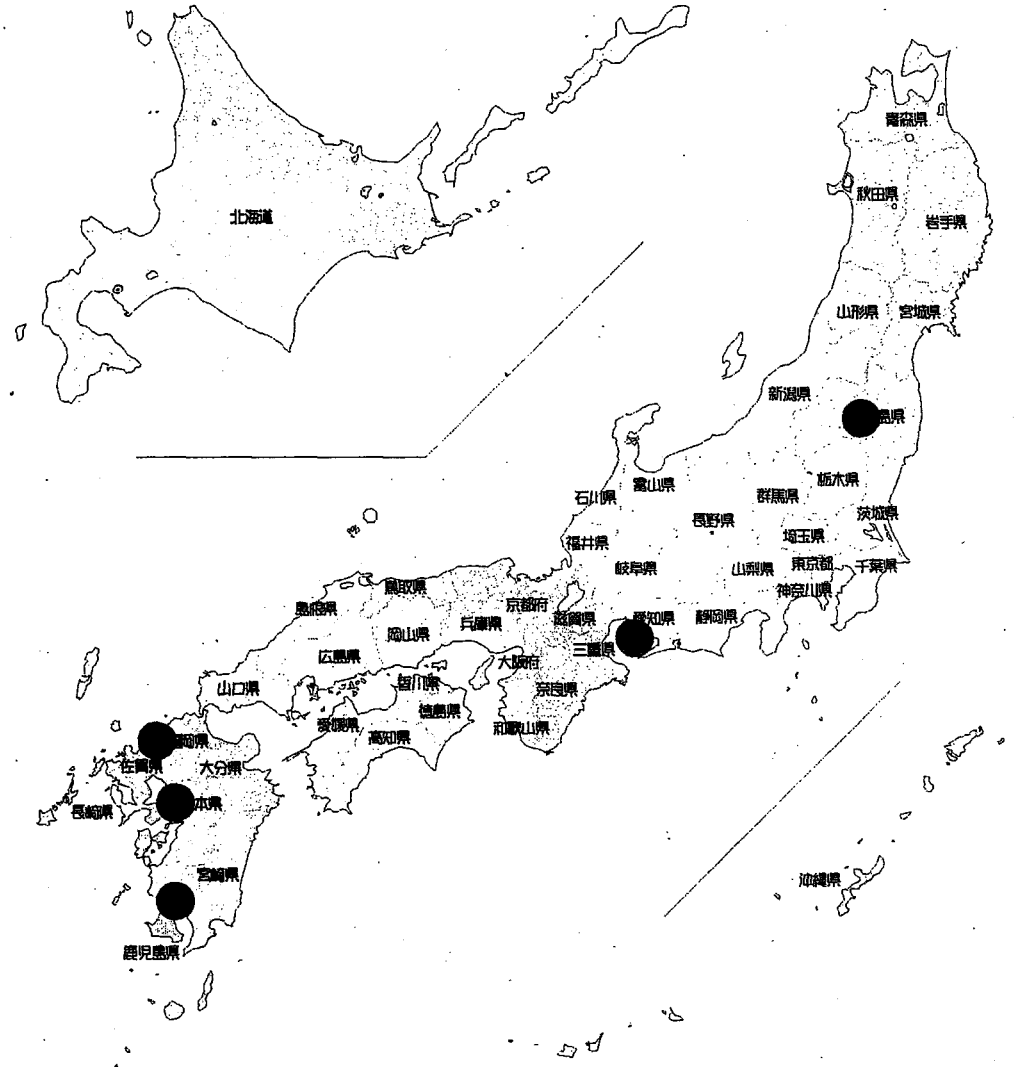
熊本県玉名市
鹿児島県鹿児島市
福岡県糸島市
愛知県知多市
福島県郡山市

メンバー紹介



山根悟

熊本県玉名市
鹿児島県鹿児島市
福岡県糸島市
愛知県知多市
福島県郡山市



各団体の地域課題

団体名	熊本県玉名市	福島県郡山市	鹿児島県鹿児島市	福岡県糸島市	愛知県知多市
地域課題	高校の定員割れ (高校の魅力化)	交通弱者の増加と対策	子育て世代流入地域と高齢化の進む地域の二極化	高齢者の移動	農業の担い手不足
内容	近年、高校の定員割れが課題となっている。高校の魅力化の面から、高校と地域とのかかわりを作ってきたが、なかなか定員割れが改善しないのが悩み。	赤字バス路線に対して単費で損失補填をしていた路線を廃止	合併後、人口は増加しており、子育て世代の流入は一定の地域に偏っているため、高齢化が進む地域と二極化している。生活スタイル等の多様化による地域の一体感が低下している。	高齢者が免許を返納した後の移動手段がない。主な移動手段であるバス（市内2社）の停留所まで行く手段がない。	各種事業等で就農支援を実施しており、毎年新規に就農する人がいるが、農村コミュニティに根差した就農者がおらず、地元が担い手不足と感じている。
取り組み内容	高校の魅力化を実施。具体的には、高校の探求の授業に協力し、地域とのかかわりを作っている。さらに「玉名未来づくり研究所」という取り組みを行い。高校生が街をワクワクするために、やりたいことを小さく実践することをやっている。	デマンドタクシーを運用しているが、目的地と本数が増やせないこともあり、利用者が伸び悩んでいる個所もある。今後は、高齢者の免許返納が増えていくことは間違いないので、利用者の声を聴く必要がある。	地域資源を活かした取り組みとして、地域の魅力を発信するイベント（マルシェ）の開催や地域の高校との連携による絵画教室、スポーツを通じた交流等の促進を行っている。	地域バスという形で自動車と運転手を地域に渡してルート、停まる場所は地域で考えてもらい運行	耕起から収穫まで一連の作業を行う耕作希望者の受入れや耕作指導等を行うモデル支援事業を実施している。

1. 大きく社会が変化している。

- ・ 高校の魅力化
- ・ 地域公共交通
- ・ 多様な住民構成（地域のつながりの断絶）

2. 対処療法ばかり（全体として根本的な問題解決に至っていない）

3. さらに地域はその変化に対応できていない。

- ・ 住民のお客様意識
- ・ 地域課題の解決は行政の仕事
- ・ 人々の意識は、そんなに簡単に変わらない

グループワークの気づき

- ・地域住民との**対話の重要性**、信頼関係の構築
- ・地域課題、地域資源、地域プレイヤーの可視化（ただし、地域課題から考えない）
- ・どんな地域になりたいのか、**わくわくするような地域のありたい姿**を、「やってみよう」という声を大事に、**動き出すまで伴奏**する
- ・**小さな成功体験**を積み上げていく。（子どもたちの意見が反映される喜びから、将来へつなげる）
- ・子供たちが憧れる大人、面白い大人の存在が子供たちの将来に関与する
⇒地域からの流出防止につながる

まちづくり＝関わりづくり
地域づくり

近者説遠者来

（近きもの喜ばば、遠きもの来る by孔子）

研修成果の活用・今後の地域との関わり方

- ・ **地域（ともに地域に住む者）として**

（その地域がどのような地域でありたいか）ありたい姿の共有する場の設定 = **チーム我がまち**

→ まずは行政が御旗をあげ、対話の場をつくる。

→ バックキャスティングのまちづくり

- ・ **本音を聞き出す = コミットメントを増強する**

→ 小さな単位で集まる、会話の回数を増やす、問題の解決は気にしない

→ **「志 = Will」を大切に**

- ・ **可視化する**

自治体を感じる地域の課題が住民にとって本当の課題なのか、地域資源がないと感じてないか、地域の協力者はいないか

- ・ **地域で小さく実践する = アソシエーション化（小さな団体をたくさんつくる）**

思い描いたものを、担える人で小さく実践する。

小さいものも上からみれば「たくさんワクワク」が集まっている

巻き込まれ事故は起こさない

今回参加した私たちが普段から意識すること

ひとりにならない

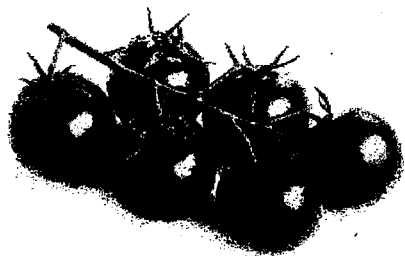
学びを継続する

心身ともに健康でないと「しごと」ができない！

困ったときは、今回の仲間と語り合う！

また研修等に参加して、課題と成功体験を語り合えたら良いですね！

ご清聴ありがとうございました
Merci beaucoup !



玉名市



鹿児島市



郡山市



糸島市



知多市

支 出 調 書

会派名		代表者		経理責任者		起案者	
郡山市議会公明党						小島 寛子 	
区 分	事 由	費 目 ・ 金 額				小 計	
1 調 査 研 究 費		交通費		旅費			
		自動車燃料費		資料作成費			
		調査委託費		振込料			
2 研 修 費		会場費		講師謝金			
		出席者負担金・会費		交通費			
		旅費		自動車燃料費			
		資料作成費		食糧費			
		振込料					
3 広 報 費		会場費		交通費			
		自動車燃料費		資料作成費			
		広報誌（紙）		報告書等印刷費			
		送料（折込料含む）		ウェブページ掲載代			
		茶菓子代		振込料			
4 広 聴 費		会場費		交通費			
		自動車燃料費		資料作成費			
		茶菓子代		振込料			
5 要 請 陳 情 活 動 費		交通費		旅費			
		自動車燃料費		資料作成費			
		振込料					
6 会 議 費		会場費		交通費			
		自動車燃料費		資料作成費			
		振込料					
資料作成費		印刷製本費		翻訳料			
		筆耕料		振込料			
8 資 料 購 入 費	参考図書代	法規追録代		参考図書代	1,980	1,980	
		新聞（日刊紙）購読料		雑誌等購読料			
		有料データベース等利用料		振込料			
9 人 件 費		賃金		社会保険料等			
		振込料					
10 事 務 所 費	消耗品等事務費	備品購入費		事務機器等リース代		8,680	
		消耗品等事務費	8,680	印刷代			
		振込料		配送手数料			
11 通 信 運 搬 費 自動車燃料費	自動車燃料費（按分）	電話料等（按分）		郵便料等		5,554	
		自動車燃料費（按分）	5,554	その他			
支出年月日	R 6 年 5 月 18 日	現金出納簿 支出番号	5	合 計		16,214	

支出明細書兼支出証明書

支出番号

5

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名	
1 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費		参考図書代	
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費	○		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）					
支出目的 (支出事由)					※該当する支出費目を記入	
内 容						
支出年月日					支出金額	
令和6年5月15日 イマジン出版(株)					1,980 円	
上記のとおり支出します。						
議員氏名 郡山市議会公明党 小島寛子						

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

ご利用明細票

お取扱日	店番	取扱番号														
06-05-1582016		A93410006														
取扱店	ロオリヤマ															
払込口座	00100-6 34749															
払込金額	*1,980	料金 *0														
<table border="1"> <tr> <td>0</td><td>6</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>6</td> </tr> <tr> <td colspan="6"></td> <td>34749</td> </tr> </table>			0	6	0	1	0	0	6							34749
0	6	0	1	0	0	6										
						34749										
振替受付票																
払込みの証拠となるものですが、大切に保存して下さい。 料金には、消費税等が含まれています。 (ゆうちょ銀行)																
入金額 *10,000 おつり *8,020																
ゆうちょ通帳アプリで税公金支払い (QRコード) キャンペーン実施中																

 印紙税申告納付につき趣町
 税務署承認済

※複数の領収書等を貼る場合は

※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。



SDGsの先駆者 9人の女性と ごみ環境

青木 泰 (環境ジャーナリスト) 著

SDGs

気候変動の下、災害・飢餓・貧困・差別
も人たちの後始末に立ち向かう私たちが

読んだら
元気が
出る本



SDGsの先駆者 9人の女性とごみ環境

青木 泰 著
イマジン出版



9784872999464



1920036018000

ISBN978-4-87299-946-4

C0036 ¥1800E

定価: 1,980円

(本体1800円+税)

先駆者は

読者は

物語を
楽しみ

未来へ

歩き
はじめ

小島 寛子 様

下記の通り納品致します。

¥1,980



イマジン出版株式会社

代表取締役 三
〒112-0013 東京都文京区 5-8
登録番号 T 788
TEL 03-3942-2520 FAX 03-3942-523

行	商 品 名	部 数	定 価	正味	合 計 金 額
1	SDGsの先駆者 9人の女性とごみ環境	1	1,980		1,980
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
12					
13					
14					
15					
摘要		合 計 1	10%対象金額 1,800	10%消費税額 180	税込金額 1,980

小島 寛子 様

下記の通り御請求申し上げます。

¥1,980



イマジン出版株式会社

代表取締役 三
〒112-0013 東京都文京区 5-8
登録番号 T 788
TEL 03-3942-2520 FAX 03-3942-523

行	商 品 名	部 数	定 価	正味	合 計 金 額
1	SDGsの先駆者 9人の女性とごみ環境	1	1,980		1,980
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
摘要		合 計 1	10%対象金額 1,800	10%消費税額 180	税込金額 1,980

ご案内

2024年05月13日 頁 1

No. 13563

〒963-8047
福島県郡山市富田町大島前11-14

小島 寛子 様



イマジン出版株式会社

代表取締役 片岡幸三

〒112-0013 東京都文京区音羽1-5-8

登録番号 T3010001000788

TEL 03-3942-2520 FAX 03-3942-2623

ご購入いただきありがとうございます。

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
ご請求書をお送りいたしますのでご査収下さい。
今後とも、ご愛読のほどよろしくお願い申し上げます。

○お支払いについて○

代金のお支払いは銀行振込、同封の郵便振替用紙をご利用いただけます。銀行振込手数料はお客様負担です。
郵便振替手数料は小社負担ですが、現金でのお入金の際には別途110円が必要となります。

□□□□□□□お振込先□□□□□□□□

三菱UFJ銀行 江戸川橋支店

普通口座 0783451
(イマジンシュツパンカブシカイシャ)
イマジン出版株式会社

□□□□□□□□□□□□□□□□□□

御見積書

2024年05月13日 頁 1

No. 13563

小島 寛子 様

下記の通り御見積り申し上げます。

¥1,980



イマジン出版株式会社

代表取締役 片岡幸三

〒112-0013 東京都文京区音羽1-5-8

登録番号 T3010001000788

TEL 03-3942-2520 FAX 03-3942-2623

品名	部数	定価	正味	合計金額
SDGsの先駆者 9人の女性とごみ環境	1	1,980		1,980
摘要	合計	10%対象金額 1,800	10%消費税額 180	税込金額 1,980

支出明細書兼支出証明書

支出番号

5

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	2 研 修 費	3 広 報 費	4 広 聴 費		消耗品等事務費
5 要請・陳情活動費	6 会 議 費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事 務 所 費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）				
支 出 目 的 (支出事由)		調査研究に係る 消耗品等事務費			
内 容		707-12745			
支 出 年 月 日		支 出 先		支 出 金 額	
令和6年4月1日		ヨドバシカメラ 郡山店		8,680 円	
上記のとおり支出します。					
議員氏名 小島 寛子					

領収書及び料金内訳明細書等貼付

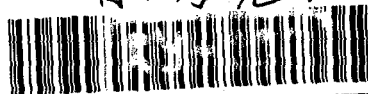
ヨドバシカメラ

郡山店

電話番号024-931-1010

登録番号 T5011101021978

領 収 書

郡山市議会公明党
小島 寛子 様お問合せセンター番号
5341-1005-948328
2024年04月01日
14時10分印紙税申告納
付につき四谷
税務署承認済

販売担当者

----- お買上明細 -----
ブラザー 4977766813808
LC411-4PK 2点 8,680合 計 8,680
(内消費税 789 含む)10%対象 8,680
(10%内消費税 789 含む)現金支払い額 8,680
(内消費税 789 含む)
お預かり額 10,000
つり銭 1,320※複数の領収書等を貼る場合は、重
※欄内に貼付できない場合は、別記い。
に貼付してください。

区 分			※該当する区分に○印
1 調査研究費	2 研 修 費	3 広 報 費	令和6年4月支出分
4 広 聴 費	5 要請・陳情活動費	6 会 議 費	
11 通信運搬・自動車燃料費（自動車燃料費）			
支出目的 (支出事由) ※該当する□をチェック			
□ 特定使途 【区分1、2、3、4、5、6】			
☑ 按分（4分の1） 【区分11】			
算 定 方 法	特定使途	特定の活動等に自動車燃料費を充当する場合は、特定業務の開始前及び終了後に満タンに給油し、特定業務終了後の給油額の全額を支出する。 給油額 _____ 円	
	按 分 (4分の1)	給油総額 <u>22,216</u> 円 × 按分率 1/4 = <u>5,554</u> 円 ※按分後の金額の1円未満の端数は切り捨てる。 ※月額上限1万円。	
支 出 金 額		5,554 円	
上記のとおり支出します。 議員氏名 小島寛子 			

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

別紙添付

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

領 収 書 等 整



納品書 (領収書)

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

只今、タイヤキャンペーン実施中！
車検予約キャンペーン実施中！(有) 井上石油
郡山並木
福島県郡山市並木5丁目1-8
TEL:024-922-6962 SS-18201
登録番号: T13800020079382024年04月07日 10:19 伝票No.0011
通番0727現金会員 小島寛子 様 *
0-18201-9401 車番1650
お買上 現金0200
レギュラーガソリン P08 ¥5370
数量 30.34(L)
単価 @177合計 ¥5,370
(内消費税 @53.8 ¥1632)
(内税分消費税 ¥488)
(10%税込対象額 ¥5370)
(10%消費税 ¥488)
釣銭 1万:4630 6千:630
担当: 1- [redacted]

8293-8293 01 2024/04/07

上記にて領収書に替えさせていただきます



納品書 (領収書)

只今、タイヤキャンペーン実施中！
車検予約キャンペーン実施中！(有) 井上石油
郡山並木
福島県郡山市並木5丁目1-8
TEL:024-922-6962 SS-18201
登録番号: T13800020079382024年04月13日 14:59 伝票No.0060
通番1169現金会員 小島寛子 様 *
0-18201-9401
お買上 現金0200
レギュラーガソリン P11 ¥5600
数量 31.64(L)
単価 @177合計 ¥5,600
(内消費税 @53.8 ¥1702)
(内税分消費税 ¥509)
(10%税込対象額 ¥5600)
(10%消費税 ¥509)

釣銭 1万:4400 6千:400

担当: 9- [redacted]

9249-9249 02 2024/04/13

上記にて領収書に替えさせていただきます



納品書 (領収書)

只今、タイヤキャンペーン実施中！
車検予約キャンペーン実施中！(有) 井上石油
郡山並木
福島県郡山市並木5丁目1-8
TEL:024-922-6962 SS-18201
登録番号: T13800020079382024年04月23日 08:32 伝票No.0013
通番1110現金会員 小島寛子 様 *
0-18201-9401
お買上 現金0200
レギュラーガソリン P14 ¥5830
数量 32.94(L)
単価 @177合計 ¥5,830
(内消費税 @53.8 ¥1772)
(内税分消費税 ¥530)
(10%税込対象額 ¥5830)
(10%消費税 ¥530)

釣銭 1万:4170 6千:170

担当: 5- [redacted]

0672-0672 02 2024/04/23

上記にて領収書に替えさせていただきます



納品書 (領収書)

只今、タイヤキャンペーン実施中！
車検予約キャンペーン実施中！(有) 井上石油
郡山並木
福島県郡山市並木5丁目1-8
TEL:024-922-6962 SS-18201
登録番号: T13800020079382024年04月29日 14:40 伝票No.0043
通番0766現金会員 小島寛子 様 *
0-18201-9401
お買上 現金0200
レギュラーガソリン P08 ¥5416
数量 30.60(L)
単価 @177合計 ¥5,416
(内消費税 @53.8 ¥1646)
(内税分消費税 ¥492)
(10%税込対象額 ¥5416)
(10%消費税 ¥492)

釣銭 1万:4584 6千:584

担当: 6- [redacted]

1503-1503 01 2024/04/29

上記にて領収書に替えさせていただきます